
中央大学大学院

文学研究科 博士後期課程

出題意図・解答又は解答例

2025 年度入試

一般入試

外国人留学生入試

行動する知性。



文学研究科 博士後期課程

○2025年度入試において出題のあった試験科目を掲載しています。

研究科	専攻	課程	科目名	入試方式	ページ
文学	各専攻共通	博士後期	英語	一般入学試験	1
文学	各専攻共通	博士後期	ドイツ語	一般入学試験	2
文学	各専攻共通	博士後期	フランス語	一般入学試験	3
文学	各専攻共通	博士後期	中国語	一般入学試験	4
文学	英文学	博士後期	英語学・英米文学	一般入学試験	5
文学	英文学	博士後期	英語学・英米文学	外国人留学生入学試験	
文学	独文学	博士後期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	一般入学試験	6
文学	独文学	博士後期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	外国人留学生入学試験	
文学	仏文学	博士後期	フランス文学・フランス美術史	一般入学試験	7
文学	仏文学	博士後期	フランス文学・フランス美術史	外国人留学生入学試験	
文学	中国言語文化	博士後期	中国語学・中国文学・中国文化学	一般入学試験	8
文学	中国言語文化	博士後期	中国語学・中国文学・中国文化学	外国人留学生入学試験	
文学	日本史学	博士後期	古文書解読	一般入学試験	9
文学	日本史学	博士後期	日本史	一般入学試験	
文学	日本史学	博士後期	日本史	外国人留学生入学試験	
文学	社会学	博士後期	社会学	一般入学試験	11
文学	社会学	博士後期	社会学	外国人留学生入学試験	
文学	社会情報学	博士後期	社会情報学	一般入学試験	12
文学	社会情報学	博士後期	社会情報学	外国人留学生入学試験	
文学	教育学	博士後期	教育学	一般入学試験	13
文学	教育学	博士後期	教育学	外国人留学生入学試験	
文学	心理学	博士後期	心理学	一般入学試験	14
文学	心理学	博士後期	心理学	外国人留学生入学試験	

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	英語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>本研究科は、選抜にあたって専門分野の文献を正確に読み取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力を有していることを評価基準のひとつとしている。各専攻共通外国語（英語）においては、この基準に基づき出題を行なっている。具体的には、辞書を使いこなしつつ文脈に即して語義を正確に理解し、文法に適った和訳を行う能力を測る。</p> <p>なお解答例については、著作権許諾処理の問題、および解答の誘導の恐れにより公表できない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>解答・解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。但し、出題の意図は以下の通りである。</p> <p>2題出題し、2題解答する。内容・形式ともに学術的なテキストを用い、学術ドイツ語の力を習得しているかを確認する。質的語彙力、統語構造を見抜く力、先行詞と代名詞の照応関係などテキストの結束構造・結束性を理解する力といった基本的な語学力に加え、テキスト外情報（背景知識や基礎的な専門知識）を援用して内容を理解するという総合的な学術ドイツ語読解のストラテジーを身につけているかを確認する。</p>

「出題の意図」 ・ 「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	フランス語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>学術的文体のフランス語で書かれた文章を読み、指定された箇所を適切な日本語に訳出する問題である。フランス語の基礎的な文法事項を正しく理解しているか、文章全体の論旨を踏まえた上で指定された箇所の意味を正確に理解し日本語に訳せているかを確認することを目的としている。</p> <p>解答または解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。ただし、採点時の観点は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定箇所の原文の内容が正しく理解できているか ・ 文章理解において特に問題となる文法事項（時制、法、代名詞など）を正しく理解した上で訳出できているか ・ 文章全体の論旨を踏まえた適切な訳語を選択できているか ・ 日本語として十分に意味の通る訳文になっているか

「出題の意図」・「解答または解答例」

<p>年度</p> <p>研究科</p> <p>課程</p> <p>専攻</p>	<p>2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）</p> <p>文学研究科</p> <p><input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程</p> <p>各専攻共通</p>
<p>入試方式</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試</p>
<p>試験科目</p>	<p>中国語（各専攻共通）</p>
<p>出題の意図</p> <p>解答または解答例</p>	<p>各専攻共通中国語の試験問題は、入学者選抜にあたって、「入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」に則り、後期課程の教育研究を行う素養（すなわち「語学力」「論理能力」「計画性」「構想力」）の中で、特に語学力（専門分野の文献を正確に読み取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力）の習熟度を測ることを目的として出題しているが、著作物の著作権許諾処理の問題により解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	英文専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	英語学・英米文学
出題の意図 解答または解答例	<p>当該専門分野におけるテーマについて、そのテーマに関する具体的な課題や論述を題材として、問いを的確に把握するとともに、自身の見解を論述することを求めることで、当該分野に関する基礎知識の有無と課題に対する論理的な検討の可否を測ることを目的としている。</p> <p>本試験問題は、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p> <p>設問Ⅰ 英文学・米文学・英語学の3分野6問から選択した2つの論説文について、以下の要件を満たした解答となっているか。</p> <p>①その学術的な意味内容や文学史的・批評史的意義などを正しく理解しているか。 ②その理解に基づいて、自らの読解を分析的・批判的に展開できているか。 ③それが論理的に構成され、過不足ない内容で、明晰に文章化されているか。</p> <p>設問Ⅱ 英文学・米文学・英語学の3分野6問から選択した2つのテーマについて、以下の要件を満たした解答となっているか。</p> <p>①その学術的な意味内容や文学史的・批評史的意義を正しく理解しているか。 ②その理解に基づいて、自らの読解を分析的・批判的に展開できているか。 ③その研究上の課題が明確に述べられているか。その際、先行研究などへの言及が適切になされているか。 ④それが論理的に構成され、過不足ない内容で、明晰に文章化されているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	独文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化
出題の意図 解答または解答例	<p>I.について</p> <p>一定の模範解答を示す形式の出題ではない。 解答に使用する言語は日本語である。選択肢から1題を選び、論文を執筆するのに相応しい学術的な日本語を適切に用いて、該当分野で適当とされる論理構成で述べることが求められる。限られた時間の中でも問題文の題意を正しく読み取り、自身の持つ専門的かつ正確な知識を論理的・明快に文章化できたか、学際的な立場から評価・採点する。博士後期課程の研究活動には必要不可欠な能力である。</p> <p>II.について</p> <p>一定の模範解答を示す形式の出題ではない。 まず、自身の専門分野について簡潔に紹介することができるか、関連する分野の先行研究リサーチや学界の動向に対する目配りが、どの程度なされているかという観点から評価する。続いて、自身が紹介しようとする研究内容を正確に理解しているか、研究史の中に正しく位置付けられているかについても評価のポイントとなる。自分自身の研究テーマと関わらせながら、的確な表現を用いて論理的な文章構成で述べることができたかについては、特に重要視する。博士後期課程在学中の研究活動は言うまでもなく、将来的に研究者を目指すという点からも求められる能力である。</p> <p>III.について</p> <p>一定の模範解答を示す形式の出題ではない。 ドイツ語の設問の意図を正しく理解した上で、限られた時間・分量の中で、学術的なドイツ語の文章を作成する能力を見る。内容的には、自分自身の研究テーマについての専門的な情報を、ドイツ語の学術用語を正確に使用しながら論理的に過不足なく述べることを要求する。研究の社会的貢献の意義についても説得力のある説明を求めるものである。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	フランス文学・フランス美術史
出題の意図 解答または解答例	<p>【フランス文学】</p> <p>I：フランス文学に関する短いフランス語の文章を読み、文中で問われたことについてフランス語で論じる問題である。フランス語の問題文を正確に読み取り問いが適切に把握できているか、問われたことに対して一貫した論理を構築した上で文章が書けているか、誤りのないフランス語が書けているかを確認することを目的としている。</p> <p>II：フランス文学史上特に知られた作家について、日本語で説明する問題である。フランス文学史に登場する基本的な作家名や事項名を記憶しているか、それらの内容を正確に理解し適切な日本語で具体的に説明できるかを確認することを目的としている。</p> <p>【フランス美術史】</p> <p>I：西洋美術史の流れや各時代の特徴に関する基礎的知識だけでなく、明確な問題意識やテーマに基づいて、より深い理解力を論述形式で問う。</p> <p>II：西洋美術史上の芸術家やその作品についてフランス語で正確に記憶しているか、美術史上の位置づけや制作した時代背景を正確に理解し、適切に説明できるかを確認する。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。 採点時の観点は以下の通りである。</p> <p>【フランス文学I】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の問題文が正確に理解できているか <ul style="list-style-type: none"> ・問題文中で問われたことに答えられているか ・適切な具体例を挙げながら、首尾一貫した論述が展開できているか ・文法的に正確で、内容が十分に伝わるフランス語が書けているか <p>【フランス文学II】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問の趣旨を的確に把握し、問われたことに過不足なく答えているか ・作家の代表作名や作風、活躍した年代、文学史的背景などの具体的な知識を解答に盛り込んでいるか ・文学史上の事実に即した内容になっているか <p>【フランス美術史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問の意図を的確に理解し、適切な論述を展開できているか。 ・西洋美術史に関する正確な知識を有し、それを歴史的背景と結びつけて深く理解しているか。 ・自らの視点を踏まえ、知識を発展させる思考力・発想力が備わっているか。 <p>なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、採点にあたっては、内容の正確さのみならず、文章の一貫性や論理性、表現力を含め、総合的に評価する。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	中国言語文化専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	中国語学・中国文学・中国文化学
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、中国語学・中国文学・中国文化学の分野についての専門知識、日本語による論理的な表現力および現代中国語の能力を問うものである。学術的なテーマについて日本語で論述し、その内容を現代中国語で適切に文章化する能力を測ることを目的としている。</p> <p>出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切でないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に記す。</p> <p>設問Ⅰ 論述問題 中国語学・中国文学・中国文化学の3分野5つのテーマから選択したひとつのテーマについて、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①テーマがもつ学術的な意味内容を正確に理解しているか。 ②中国語学・中国文学・中国文化学の各分野の視点から、論旨明快に論述できているか。 ③2000字程度の日本語で、論理的な構成と表現による文章化がなされているか。</p> <p>設問Ⅱ 論述能力および中国語能力を問う問題 前問で論述した文章を現代中国語で要約し、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①現代中国語の語彙や文法構造を正しく理解し、簡体字で文章を記述できるか。 ②前問で論述した内容について、要約できているか。 ③簡潔かつ明確な文章表現ができているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	古文書読解
出題の意図 解答または解答例	<p>日本史学・考古学に関する史資料の原文等を読解し、その情報を適切な文章に表現する課題を通して、研究を遂行するのに必要な日本史学・考古学の基礎的な史資料読解能力を測り、各分野に関する高度な専門的知識と、学術的な論述を行うための力を測ることを意図している。</p> <p>なお、特定の解答に誘導し筆記の内容が画一的になると、筆記試験が意図する知識・思考・能力の把握が困難になることから、解答例（模範解答）は公開しない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	日本史
出題の意図 解答または解答例	<p>日本史学の専門分野における、主要な歴史概念や分野の研究上の課題についての論述、および日本史学・考古学に関する史資料の読解を通して、歴史学に関する専門的知識と、学術的に論述する力を測ることを意図している。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	社会学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	社会学
出題の意図 解答または解答例	<p>問1 設問1 社会学分析の基礎である階級概念について、その古典であるマルクスの階級理論とそれを展開して確立したマックス・ウェーバーの階層論の相違点を理解しているかどうか マルクスの階級理論は、近代初期、工業化時代の状況を反映したもので、資本（主に工場などを想定）の所有者である資本家と非所有者で自らの労働力しか所収していない労働者の二つの階級を想定。そして、資本家階級と労働者階級の対立することを示した。 ウェーバーは、マルクスが単に経済力、特に資本の所有、非所有にのみで階級が決定されることに異議を唱え、「威信」や「権力」など、様々な観点を総合して階級、階層概念を捉える必要性を強調し、社会学の階層論研究をもとになった。 この点が記述されていれば合格点とする。</p> <p>設問2 全問の階級概念を理解した上で、それを使って現実の社会をどのように捉えることができるか、理論の横領力を問う問題である。 例 日本であれば、単に資本の所有、非所有だけでなく、労働者のなかでの正規、非正規雇用者の分断。経済階級とライフスタイルの乖離などの視点を入れて叙述されていれば合格点とする。</p> <p>問2 出題の意図：本試験は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、社会学の専門文献の読解を通じて、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を問うことを狙いとしている。 採点時の観点： 設問1 専門的な文書の内容理解を問う問題である。「社会学」をあえて「質問・応答のゲーム」として位置づけた上で、様々な方法が競合する状況にありながらも、Whatの問いとHowの問いを弁別しなければならないと主張する社会学者の主張を正確に理解し、社会学的な理解が可能であるかを問うた問題である。社会学の文献への基礎的な理解力を問う問題である。 設問2 「ルールとしての科学」における方法を評価するための社会学という主張に対して、具体的な事例を引きながら、自らの主張を論理的かつ批判的に論じることができるかを問うた問題である。とりわけ、専門的な社会学的知見に対する批判的思考力を通じて考察できるかを問う問題である。</p> <p>なお、いずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ □秋季 ■春季）
研究科	文学研究科
課程	□博士前期課程 ■博士後期課程
専攻	社会情報学専攻
入試方式	■一般入試 □社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<p><基礎理論> 本問題においては、受験者が社会情報学の理論や概念に関する知識を十分有しているか、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか ・社会情報学の理論や概念、および先行研究を正確に理解し、今日的な現象に適切に応用し、記述しているか ・論理的思考力、および論理構成力が博士論文執筆にむけた研究活動・論文執筆において十分であるか</p> <p><メディア・コミュニケーション論> 本問題においては、受験者がメディア・コミュニケーション論に関する理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 第一に、設問の趣旨を正確に把握し、論理的に正確な解答を行っているかどうか。 第二に、メディア・コミュニケーション論に関する理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうか。 第三に、本学大学院に入学後に行う研究や論文の執筆に向けて、とりわけ博士論文の執筆に向けて、十分な論理的思考力や記述力を有しているかどうか。</p> <p><図書館情報学> 本問題においては、受験者が図書館情報学の理論や概念に関する知識、技術、技能等を十分に有しているか、またそれらを図書館の諸現象にかかる過去、現在、将来に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答しているか。 図書館情報学の理論や概念に関する知識、技術、技能等を正確に理解し、図書館の諸現象にかかる過去、現在、将来に適切に応用し、記述しているか。 本学大学院に入学後の研究活動や論文執筆に際し、十分な論理的思考力や記述力を有しているか。</p> <p><情報システム学> 本問題においては、受験者が情報システム学の知識や理論的枠組みを十分有しており、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか 情報システム学の理論や概念、および先行研究を正確に理解し、今日的なトピックにおいてその状況を正確に理解したうえで適切に応用し、記述しているか 論理的思考力、および論理構成力が博士論文執筆にむけた研究活動・論文執筆において十分であるか</p> <p><データ分析> 出題意図 本設問は次の2点の確認を目的としている。 ①データ分析に関する、より実践的・応用的な知識を身に付けているか。具体的には、一般的に多用される多変量解析について理解できているか。 ②データの種類や分析方法に応じた、適切なデータの扱いを理解しているか。 採点基準は以下のとおりである。 ①基本的な多変量解析の方法を誤りなく記述できていること ②現実のデータ分析において求められるデータの処理方法を理解し、記述できていること。 後期課程の出題については、データ分析に関する、より実践的・応用的な知識を問うている。具体的には、さまざまな回帰モデルやその前提（回帰診断を含む）、基本的な多変量解析（因子分析、主成分分析、クラスター分析、ロジスティック回帰分析など）についてである。また、統計学やデータ処理の知識だけでなく、現実のデータにそれを適用できることを求めている。</p> <p>なお、いずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	教育学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	教育学
出題の意図	本試験問題は、すべて教育学についての基本的な知識を問うものとなっているが、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。
解答または解答例	<p><A>問1 英文の問題文から適切な場所を抜き出し、日本語に正確に翻訳することが出来ているかを確認する。著作権の問題から、解答例は示さない。問2は発達教育学分野の論説文をもとにしながら、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>問1 英文の問題文から適切な場所を抜き出し、日本語に正確に翻訳することが出来ているかを確認する。著作権の問題から、解答例は示さない。問2は日本教育史および教育制度学の論説文をもとにしながら、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p><C>問1 英文の問題文から適切な場所を抜き出し、日本語に正確に翻訳することが出来ているかを確認する。著作権の問題から、解答例は示さない。問2は教育社会学の論説文をもとにしながら、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p>

「解答または解答例」・「出題の意図」提出用紙

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図	<p>問1</p> <p>遂行機能（executive functions）は、心理学・神経科学・臨床領域すべてに横断的に関わる高次認知機能であり、博士後期課程受験生に求められる基礎的知識の核心領域である。本問は、遂行機能の構成要素（抑制、ワーキングメモリ、認知的柔軟性等）の学術的理解、および神経心理学的・行動学的評価手法（Stroop課題、WCST、Trail Making Test、BADsなど）を体系的に説明できるかを問う。また、単なるテストの羅列ではなく、各機能と課題の対応づけができるか、遂行機能の多次元性を適切に整理できるかを評価する。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遂行機能の定義が学術的に正確であるか ●主要構成要素（抑制・更新・転換等）を体系的に説明できているか ●代表的評価法を挙げ、それぞれが何を測定するのかを明確化できているか ●遂行機能の多次元性・臨床的重要性への理解できているか ●全体として論理的で首尾一貫した記述をしているか
解答または解答例	<p>問2</p> <p>心理学で扱う行動・認知・情動の背後にある神経基盤を理解する能力を確認する問題である。受験者が、神経生理学的手法（単一ニューロン記録、EEG/MEG、機能的画像法、光遺伝学、神経刺激法など）のなかから適切な研究例を挙げ、その手法がどのように心理学的理解を深化させるかを論じる力を測定する。また、単なる技術紹介にとどまらず、心理学研究への貢献と限界の両面を批判的に記述できるかが問われる。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●神経生理学的方法の簡潔で正確な説明しているか ●具体例（研究例や代表的知見）を明確に提示しているか ●その研究が心理学的理解をどう深めるか論述しているか ●方法論の意義と限界に適切に触れているか ●理路整然とした論述構成になっているか <p>問3</p> <p>心理学研究の再現性危機が議論される現代では、出版バイアスはメタ分析の厳密性を左右する重要課題である。本問は、出版バイアスの発生メカニズム（有意結果の過大評価、ファイルドロワー問題、ジャーナル方針、研究者の動機等）を理解しているかを確保するとともに、検出手法（ファンネルプロット、Egger検定、Trim-and-fill法、p-curve分析など）を説明できるかを問う。博士後期課程に必要な研究の批判的読解力を測定する問題である。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出版バイアスの定義が正確であるか ●なぜ生じるか（制度・動機・統計構造）を具体的に説明しているか ●主要な検出方法（図示法・統計法）を正確に述べているか ●メタ分析の信頼性への影響を理解しているか ●批判的・分析的な論述ができているか <p>問4</p> <p>信号検出理論（SDT）は心理物理学から臨床診断、認知心理学、意思決定研究に至るまで幅広く用いられる基礎理論である。本問では、感度（d'）と判定基準（criterion）というSDTの核心概念を、ノイズ分布・信号+ノイズ分布、ROC曲線などに関連づけて説明できるかを確保する。単なる用語説明ではなく、「感度」と「基準」の独立性を明確に述べられるかが重要な評価対象となる。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDTの目的（知覚や判断の精度評価）が説明できているか ●d' と criterion を正しく定義できるか ●HIT/FAなどの反応分類を正確に理解しているか ●ROC曲線や閾値調整の概念に言及しているか ●用語の関係を一貫した形で説明しているか

「解答または解答例」・「出題の意図」提出用紙

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	<p>心理学</p> <p>問5</p> <p>行動科学・健康心理学・公衆衛生などの領域では、予防介入を目的とした行動変容（例：禁煙、感染予防行動、生活習慣改善など）が専門家によって実施されるが、その際には自律尊重、強制性、情報の非対称性、スティグマ、監視社会化のリスクなど複数の倫理問題が生じうる。本問は、心理学的支援者として必要な倫理的視座を持って考察できるかを問う。</p> <p>参考：Guttman, N. (2017) Ethical Issues in Health Promotion and Communication Interventions. Oxford Research Encyclopedias</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「予防的行動変容」における典型的な倫理的問題を理解しているか ●自律性・同意・強制の問題を明確に説明できるか ●社会的影響（スティグマ化・不平等・介入の偏在）を適切に述べているか ●倫理原則に照らした多角的な考察ができているか ●現代的課題（例：ナッジの倫理）に触れられているか <p>問6</p> <p>災害時における急性期支援は、サイコロジカル・ファースト・エイド（PFA）、安全確保、ニーズ把握、情報提供、社会的支援の確保などを基礎とする。本問では、急性期に不適切とされる介入（例：一律のデブリーフィング）との対比を含め、科学的根拠に基づく初期支援を適切に整理できるかを問う。また、博士後期課程受験者として、支援原則（安全・安心・つながり・希望）を根拠とともに説明できることが求められる。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●急性期支援の基本原則（安全・安定・つながり・希望）が説明できるか ●PFAの主要要素を正確に理解しているか ●デブリーフィング等の非推奨介入を理解しているか ●被災文脈に応じた柔軟な支援の必要性を論じているか ●科学的根拠・国際ガイドラインを踏まえた記述しているか